

## 仕様書

### 1. 件名

広島市立大学デジタルアーカイブシステム構築業務

### 2. 履行場所

本学が指定する場所

### 3. 履行期間

契約締結の日から 2025 年 3 月 31 日まで

### 4. 業務概要

発注者が提供するデータより閲覧用データおよび公開利用に供するため各種データ・コンテンツを作成する。また作成したデータを国立国会図書館サーチ及びジャパンサーチと連携が可能なデジタルアーカイブシステムで公開する。

### 5. 対象資料

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| (1) 広島市立大学芸術資料館作品            | 830 点 |
| (2) 『ヒロシマ調査・研究入門』ガイドブック      | 1 点   |
| (3) 『ヒロシマ調査・研究入門』ガイドブック引用の写真 | 408 点 |

### 6. 前提条件

- (1) 本業務は公益財団法人図書館振興財団の2023年度提案型助成事業「郷土（地域）資料」「貴重資料等」のデジタル化に伴うデジタルデータの公開事業に基づき実施されるので、事業の趣旨および留意事項を確認しておくこと。

### 7. 搭載用データの作成

#### (1) 目録データの作成

- ① 目録データの元になる情報は発注者が提供し、受託者は提供された情報をデジタルアーカイブシステムの目録項目に適切にマッピングすること。
- ② 提供された情報を加工し、デジタルアーカイブシステム用の目録データを作成すること。
- ③ 目録項目を 150 項目以上用意し、多様な文化財への登録に対応できること。
- ④ 目録の項目はラベル名の変更に対応が可能なこと。
- ⑤ 汎用的に使用できる項目を 20 以上備えていること。

#### (2) 閲覧用データの作成

- ① 発注者が提供する資料データを元に、インターネット上で配信可能な閲覧用データの形式に変換すること。

- ② 一般的な回線速度で十分に閲覧でき、必要に応じて必要なデータのみを配信する形式にすること。また、劣化の目立たない範囲で圧縮ファイルとすること。
- ③ 学校や一般家庭のパソコンやタブレット端末上で動作するウェブブラウザを用いて閲覧できるデータであること。その際は、プラグインなどの特別なソフトウェアをインストールすることなく実行できるデータとすること。
- ④ ページめくり、拡大、縮小、付箋機能など、可読性、利便性を備えたインタフェースにすること。

### (3) フルテキストコンテンツの作成

- ① 発注者が提供する『ヒロシマ調査・研究入門』ガイドブックの原稿データより、全文検索可能なテキスト画面（HTML 画面）を作成し、目録と一緒に搭載すること。
- ② 『ヒロシマ調査・研究入門』ガイドブックの目次テキスト画面を作成し、各見出しより該当するテキスト画面にリンクを張ること。
- ③ 発注者が提供する『ヒロシマ調査・研究入門』ガイドブック引用の写真データより閲覧用データを作成し、目録と一緒に搭載すること。
- ④ 『ヒロシマ調査・研究入門』ガイドブックの HTML 画面の写真箇所に、③で作成した閲覧用データへのリンクを張ること。

### (4) 公開画面の作成

- ① 共通事項
  - 1. 発注者が提供する素材データおよび作成したデータを使用し、各画面を作成すること。
  - 2. 公開画面のデザインは、発注者と十分に協議して作成すること。
- ② トップ画面
  - 1. 構築するデジタルアーカイブの概要等を表示すること。
  - 2. 各公開画面へのリンクを設定すること。
  - 3. 資料に対して、適切にアクセス可能なカテゴリを用意すること。
  - 4. 搭載件数を表示すること。
- ③ 資料一覧画面
  - 1. 資料のカテゴリ毎に作成すること。
  - 2. 資料毎にサムネイル画像を表示し、目録データ、閲覧用データにリンク設定がなされること。
  - 3. グリッド表示、リスト表示、テーブル表示を切り替えられること。
- ④ その他画面
  - 1. 操作説明画面、利用規定画面を作成すること。
  - 2. 発注者と協議のうえ、その他必要な画面を作成すること。

## 8. デジタルアーカイブの構築及びデジタルアーカイブシステムの運用（公開）

### (1) システム全般

- ① クラウド型プラットフォームシステムで公開すること。ただしプラットフォーム

は、100 機関以上の参加をもって運用されていること。また、対象資料は、古文書、地図絵図、自治体史等、多岐に及ぶこと。

- ② API 方式による運用を行っており、本業務による公開後は自動的に国立国会図書館サーチからの検索が可能になること。
- ③ 図書館システム上でデジタルアーカイブ資料の検索を可能にするために、図書館システムが取り込める (MARC) 形式での目録の出力機能を有すること。
- ④ ジャパンサーチとの連携機能を有すること。また、同連携機能は稼働時に実装していること。
- ⑤ 他機関との連携を可能とするために OAI-PMH プロトコルおよび SRU プロトコルを実装すること。
- ⑥ 国際的レベルのシステムとして EBSCO 社と同等以上のディスカバリーサービスとの連携実績を有すること。
- ⑦ コンテンツの電子データに付与される国際的な識別子として、DOI (Digital Object Identifier) に対応していること。また、DOI を維持するために、国内の DOI 登録機関のデータベースにアクセスし、メタデータの登録・更新が可能なこと。
- ⑧ 国際標準対応として、IIIF に対応した画像ビューアを用意していること。また、システム内に IIIF の配信サーバを備えること。
- ⑨ 画像の相互流通をさせない (非 IIIF) ために、独自の画像ビューアを用意していること。
- ⑩ 検索閲覧システムは、完全公開を原則に利用時間の制約なく 24 時間稼働すること。但し予め定められたメンテナンス期間を除くものとする。
- ⑪ システムの運用管理は発注者の負担とならないこと。
- ⑫ システム導入後に基本的な OS やブラウザ等のバージョンアップがあった際は、常に最新状態で稼働できるよう対応すること。
- ⑬ デジタルデータのバックアップ対策として、運用するデータセンターとバックアップデータの保管場所を東日本リージョン、西日本リージョンとで分けて運用していること。

## (2) データの搭載

- ① 作成したデータをデジタルアーカイブシステムに搭載するため、各種関連データベースを構築すること。
- ② 公開前に発注者のみが閲覧できる環境を用意し、各々の資料ごとの公開可否を確認でき、修正や削除が可能であること。

## (3) 検索機能

- ① 目録データで設定された項目に対して、フルテキスト検索が可能であること。検索結果を一覧で表示し、詳細目録が表示できるようにすること。
- ② 翻刻文や解説等のテキストデータすべてに対して、フルテキスト検索が可能である

こと。検索結果の一覧表を作成し、該当画面を表示できること。

- ③ 他機関を含むすべての搭載データの全てを対象とする横断検索が可能であること。検索結果は機関名・資料名・見出しを含む一覧表を作成し、該当頁を表示できること。
- ④ 詳細検索が可能であること。検索対象（目録、テキスト、年表、キーワード、その他(トップページ等)）を選択して検索ができること。
- ⑤ 「AND」「OR」「NOT」検索が可能であること。検索項目を「タイトル」「人物・団体」「形状・材質」「地域・場所」「番号」「主題・内容」「その他」から選択できること。

#### (4) 検索一覧画面

- ① 検索結果一覧画面には資料毎にサムネイル画像を表示し、目録データ、閲覧用データにリンク設定がなされること。
- ② 1ページに表示する検索結果の件数（10件、20件、50件、100件）を選択できること。
- ③ 検索結果一覧画面はグリッド表示、リスト表示、テーブル表示を切り替えられること。
- ④ 検索結果の並べ替えが「目録タイトル」「目録ID」「製作年」「カテゴリ」「資料種類」「作成者」の項目から選択可能であること。全項目において昇順と降順の並べ替えが可能であること。
- ⑤ ファセット検索画面が表示可能であること。詳細な条件（コンテンツ、資料グループ名、カテゴリ区分、権利関係・利用条件、言語、階層レベル、静止画コンテンツの有無など）の表示により、さらに検索結果の絞り込みが可能なこと。

#### (5) 画像の閲覧機能

- ① 拡大・縮小
  - 1. ユーザーが、ストレスを感じることなく画像を高速に拡大・縮小できること。
  - 2. 原資料の幅・高さが数メートルにわたるような大きなサイズの画像であっても、細部にわたって高速、かつ鮮明に表示できること。
  - 3. サーバやネットワーク、表示用PCやタブレット等の各機器への負荷をかけないよう、各段階の拡大率・縮小率に応じて原画像を分割した複数の矩形画像片を表すタイル画像情報をサーバに保存すること。表示の際には必要なタイル画像のみをダウンロードし、それらを統合して画面表示すること。
  - 4. マウスホイールの回転や画面上の拡大・縮小各ボタンクリックにより、画像を滑らかに拡大・縮小できること。
  - 5. タブレットによる表示の場合、ピンチイン、ピンチアウトといった操作により同様に画像を滑らかに拡大・縮小できること。
  - 6. 拡大率の上限値、縮小率の下限値は、表示する画像によって個別に設定できること。

7. 重ね、並べ機能と併用時、一方の画像に対して拡大・縮小操作することにより、他方の画像に対しても同じ拡大・縮小操作を連動できること。
8. 回転機能と併用時、初期表示状態の画像に対してだけでなく、回転操作後の画像に対しても拡大・縮小操作ができること。

② 回転

1. 表示画像を左右各方向に 90 度ずつ回転可能であること。
2. 重ね、並べ機能と併用時、一方の画像に対して実行した回転操作を他方の画像に対しても連動して回転操作できること。

③ 移動

1. 画像をドラッグすることで任意の位置に画像を移動し表示できること。
2. 重ね、並べ機能との併用時に、一方の画像に対して移動操作することにより、他方の画像に対しても同じ移動操作を連動できること。
3. 初期表示状態の画像に対してだけでなく、回転操作後の画像に対しても移動操作ができること。

④ 記憶（付箋機能）

1. 画面の表示状態（位置、拡大・縮小率、回転角等の情報）を記憶し、再現できること。

⑤ ページ操作

1. 冊子体文書等、複数画像で構成される資料を表示する場合、画面左端に各画像の縮小画像（サムネイル）を表示できる。また、クリックすると該当画像を表示できること。
2. 現在表示されている画像番号を表示できる。画像番号選択により、該当画像を表示できること。

⑥ 全画面表示

1. フルスクリーン表示できること。

⑦ データダウンロードの制御

1. 右クリックなどの操作を禁止すること。

(6) 管理機能

- ① 目録データ、閲覧用データの登録者の ID 管理が可能なこと。
- ② 登録者の ID はログイン ID、パスワードの管理が可能なこと。
- ③ 操作ログとして登録者の ID、処理内容、更新日時のログを管理すること。
- ④ サイトへのアクセス件数を管理できること。

9. 成果物の納品

- (1) 原則的にデジタルアーカイブシステムへの搭載・公開をもって納品とみなすものとする。
- (2) 2025 年 3 月 31 日までにデジタルアーカイブシステムへの搭載・公開を完了すること。公開後、発注者の検査に合格したことをもって納品完了とする。

10. その他

- (1) 瑕疵担保期間は、発注者の検査に合格した日から1年とする。瑕疵担保期間中に瑕疵が発見された場合は、受託者の責任において瑕疵のない状態に修復すること。
- (2) 本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、または、本仕様書に定めのない事項については、発注者受託者協議して定めるものとする。

以上